

# 広報

# いまり

昭和29年8月19日  
第3種郵便物認可

毎月1日発行 定価1部20円 昭和55年4月1日 伊万里市役所総務部秘書課発行 No.314



さわやかな春風にのって子供たちが草スキーをしています。'55  
顔はほころび、体いっぱい喜びが満ちあふれていました。  
そこには美しいふるさとがあり、健やかに育てと願う「社会  
総健康運動」が見られます。

# 4月

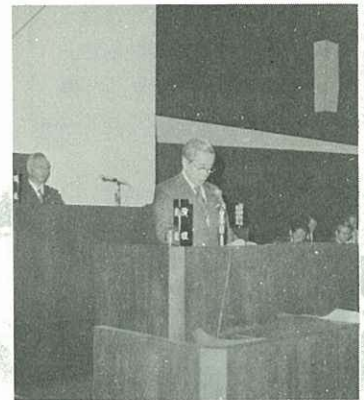
(写真は大平山公園で草スキーに興じる子供たち—黒川町立目)

## 昭和55年度重点施策

## 地域づくり・環境づくり・社会づくりを

## 竹内市長所信を表明

昭和55年第1回定例市議会は3月7日から26日まで開かれ、昭和54年度補正予算案をはじめ、昭和55年度予算案など43議案が審議可決されました。竹内市長は、開会にあたり121億1,980万円にのぼる昭和55年度一般会計予算など市政について所信を述べました。そのあらましをお知らせします。



▲市議会で所信を述べる竹内市長

## より豊かな都市づくりを目指し

80年代こそ  
めざす地方の時代

時は70年代に別れを告げ、いよいよ80年代こそ、われわれがめざす「地方の時代」としなければなりません。

ひたすら近代化をめざしたわが国は、高度な経済活動により世界に類のない驚異的發展を遂げてまいりました。

これは、低廉豊富な資源エネルギーと好調な輸出や技術革新と国民の勤勉さに支えられたものであり、重化学工業が牽引的役割りを担い、これにつれ他の

産業が発展するという拡大生産の繰り返しによって、経済的豊かさを達成してきたものであります。

将来を見極めた  
地域社会を創造

しかし、70年代に入り、このような経済的豊かさを達成する過程で過密過疎の都市問題をはじめ、自然破壊、公害、交通など環境の悪化はさまざまな社会問題を生じてまいりました。

また、高度経済成長は、エネルギー多消費型社会をつくり出し、オイルショックを契機とし

たエネルギー制約の表面化は、市民生活への不安と戦後最大ともいえる不況をもたらし、今なお不況脱出への足どりは重く、その対策が強く要請されているところであります。

一方、人々の価値感や欲求は多様化し、自然環境の保全や生活環境の整備並びに福祉に対するきめこまかな取り組みが求められております。

私は、かかる70年代の現状を直視し、しっかりと将来を見極め、人間が人間として生活できる地域社会の創造をめざすこと

思う。もともと明治の中期に全国に亘って鉄道が敷かれた原点到帰るとその意義は明かして国の交通動脈は一本は末端まで通じていなければならぬ。殊に陸上輸送の今後を考えると長距離大量輸送に鉄道を存続しておくことは必須の国策である。さらに松浦線など先が行き止りとか、路線間の中継線と異なり北松半島を一循環しているこの地方唯一の幹線である。しかもこの調査で伊万里湾一帯はこれからの中国指向の国際交流の重要な地点として開発の手順までしめされている。勿論地域の人も国鉄利用を心がけねばならないが松浦線は是非存続してむしろ優等列車を増発して貰いたい。この場合の、にわとりと卵では親に当る政府の施策が先であることはいうまでもない。

人間は応々にして積上げられたところからだけ近視眼的にたい対応したくなるが国策は百年の大計であるから、その原点をみつめ長期の視野に立つて決定されなければ逆に悔を千載に残すことになりかねない。(竹)

こそ、80年代の課題ではないか  
 と思います。経済活動が低迷す  
 る今日の下況では、再び環境  
 悪化を容認する経済開発優先  
 思想が台頭しがちですが、あく  
 まですべて都市は、人々が住  
 み、働き、憩うところであり、  
 快適な環境を保持されることが  
 前提であると思います。

### 広大な海洋空間の 開発に期待

本市にとって地域開発は、豊  
 かな社会を実現するための最も  
 基本的な課題であります。

そのため私は、日本列島の西  
 北端という地理的条件にあり、  
 高度経済成長時に取り残され  
 た本地域の浮揚を図るため、伊  
 万里湾の開発調査を国にお願

たところであります。本地域は、  
 佐賀、長崎両県にまたがる広  
 大な海洋空間を有し、多角的な  
 臨海産業の開発可能性を秘めた  
 数少ない開発適地として期待  
 されています。

折しも、近代化をめざす中国  
 の国際社会への進出は、世界  
 各国の注目するところとなり、  
 本地域の地理的条件は、我が  
 国の中国に対する新たな経済  
 交流、貿易の最適の地となっ  
 ています。昨年10月には、本  
 市独自の訪中団を派遣し、い  
 ち早く中国との友好を結び、  
 中国造船技術者の受け入れ、  
 景徳鎮市との姉妹都市締結申  
 し入れなど本市発展の将来方  
 向に先導的役割りを果たした  
 ものであります。

### 活力ある地域づくりの 諸政策を推進

私は、市政担当以来、活力あ  
 る地域づくりの諸政策を推進  
 する一方、人々の連帯に支え  
 られた安らぎのある豊かな地  
 域社会の実現に努めてまいり  
 ました。その間、地域産業の中  
 核をなす農業の振興には多く  
 の予算を投じ、基盤の整備に  
 取り組み、農業全般にわたる  
 近代化の促進を図ってきたと  
 ころであります。そのほか、  
 義務教育施設の整備、市民生  
 活に直結する道路整備、ごみ  
 など廃棄物対策、保健医療  
 対策としての市民病院の全面  
 改築、休日急患医療センター  
 や保健センターの設置、高齢  
 化社会に対応する厚生年金休  
 暇センターの誘致、老人憩い  
 の家の建設また、市民所得向  
 上を図るための企業誘致や都  
 会的雰囲気をもつ商店街近代  
 化事業など可能な限りの努力  
 を重ねてまいりました。

### 生活・生産環境の 整備を推進

しかし、本市は、まだまだ人  
 間生活の基盤ともいえる生活  
 環境や生産環境の整備も進め  
 なければなりません。また、人  
 々の

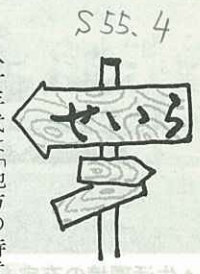


▲海洋空間の開発で期待される伊万里湾

八十年代は「地方の時代」といわれるが、それは政府が地方喜ばせの何かを目標の掛け声だけではないか地方の権限を移譲するといつても単なる中央のせい肉落して地方の負担がふえる結果になるのではないかと鋭い批判がある。

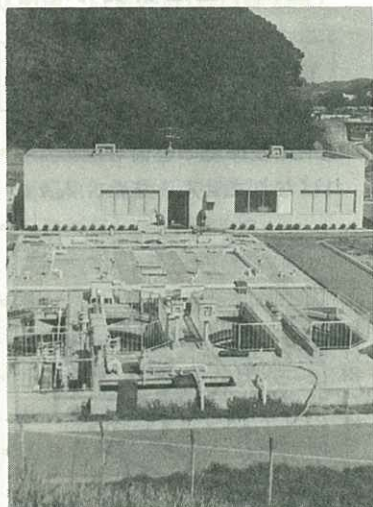
なぜならばこれまで農政などごとく農民の信頼を損ねてきており、美しい定住構想を唱える一方では鉄道のローカル線は採算ベースだけで廃止が考えられ、人が減らない施策をと言いつつ不景気の時の地方唯一の農外収入となる公共事業は大幅に削減された上に、着工まで延期せよということ、これでは田舎に人をとどめる手だてはなく、どうもやることなすこと本音とたてまえが相反しているからである。

中でも国鉄のローカル線廃止など国政の重要問題として見直しが必要であると



心に潤いを与える教育、文化も充実しなければなりません。人々の幸せをもたらす真の豊かさは、地域の活力とそこに住む人々の心の美しさがあって、はじめて達成されるものであります。ただ、今日の世相を見ると、氾濫する情報社会のなかでモラルの低下や非行、犯罪が渦をまいている感じがいたします。

しかも、その年齢が年々若年化していることは、驚くべきと同時に悲しむべき現象であります。犯罪は、社会の平和を乱します。人々が経済的な豊かさをもち、都市が機能的に整備されても犯罪が起きるような社会は病める社会であり、決して健康な社会とはいえません。犯罪は少しの間から忍び寄ります。私は悪のつけ入る隙のない地域社会の建設に努めなければならないと思います。家庭にあっては人間としての躰を、学校にあっては団体生活の規律を、地域にあっては、社会のルールを確立することが必要であります。



▲生活環境の充実を目指して  
(下水処理場)



▲健康都市づくりに一役買う国見台運動公園

### 人と地域が 健康な都市に

私は、家庭、学校、地域社会のなかで相互の絆を強くし、創意、工夫を重ねながら健康な社会の建設に市民こぞって参加することが必要だと思います。

また、人々が生活する都市はそれ自体健康でなければなりません。市民の健康をはじめ、まちは機能的で活気に満ち、地域には豊かな自然と人々の笑いが溢れる社会、即ち、人も地域も健康な都市こそ、市民が等しく願う都市だと思います。

### 社会総健康運動を推進

このような観点から、私は、社会総健康運動を提唱するものであります。社会総健康運動は健康都市の形成をめざし、市民の健康づくり、地域の健康づくりをすすめるものであります。

市民の健康づくりは、市民一人ひとりの身体的、精神的そして社会的な健康を増進することであり、医療保健活動はもとより、教育、文化活動、社会福祉活動のすべての分野にわた

り、心と体の健康づくり運動を展開していこうとするものであります。地域の健康づくりは、都市機能全体の内部活力の豊かさを確立するものであります。市民の生活を支える産業の振興をはじめ、安全、快適な生活を営むための生活環境の整備や商店街の近代化、市街地の再開発道路の整備など都市機能の確立を図り、地域のもつ活力を高め生き生きとした社会を創造していこうとするものであります。

### 「健康都市伊万里」の 実現に努力

私は、市民の健康づくりや地域の健康づくりを推進するため市民の積極的参加を得て、地域の連帯を高めるコミュニティ活動、地域ぐるみの青少年育成活動、善意のまちづくり運動など健康の基盤づくりを進め、人も健康、まちも健康という真の、「健康都市伊万里」の実現をめざしたいと考えております。

今、私達に求められているものは、豊かな定住圏を確立するための基盤づくりを行うことだと思います。人々が定住するために必要なことは、経済的な豊

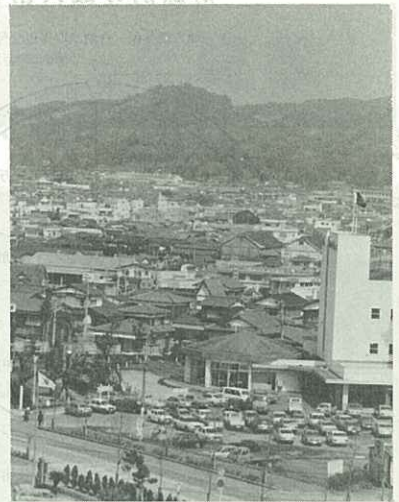
かさ、社会的な住み良さ、人間的な健やかさが総合的に整備され、人々の自発的な創意と工夫を軸とした活力ある都市が創造されることであります。

地域・環境・社会づくりで豊かな都市を

かかる意味から、この、地方の時代にふさわしい魅力ある定住圏の形成を図るため、市民参加のもとに本市の都市づくりの基本的施策を明らかにした新たな総合計画を策定することにしてしております。

豊かな都市の建設には、すべての市民の力を必要といたします。私は、80年代のスタートに当たり、市民の皆さんとともに「豊かな生活を支える活力ある都市」、「健康で安全な生活ができる明るい都市」、「あすの郷土を築く人間性豊かな都市」をめざし、

- 1. 活力ある地域づくり
  - 1. 住みよい環境づくり
  - 1. 人間性豊かな社会づくり
- の実現に向け、より豊かな都市づくりに最善の努力を傾ける決意であります。



▲豊かな都市の建設に向って

主 な 施 策

◇地方の時代の都市づくり

- ・伊万里市総合計画の改定
- ・社会総健康運動の推進

◇環境整備

- ・環境センター建設

◇不況対策事業の継続

- ・特定不況事業債の導入

◇日中友好

- ・中国造船技術者の研修受入

◇市民福祉の拡充

- ・母子世帯児童医療費の助成
- ・母子福祉貸付資金の枠拡大
- ・老人の生きがいと創造の事業(陶芸・園芸・手芸など)
- ・市民交通傷害保険料の減免

(身体障害者)

◇文教施設整備

- ・伊万里小校舎建設、屋内運動場建設
- ・波多津中屋内運動場建設
- ・牧島公民館敷地造成
- ・弓道場建設(国見台)

◇教育・文化の振興

- ・心身障害児学級に通学する児童生徒の通学費助成
- ・市民展開催
- ・石造物群整備事業
- ・名木古木調査
- ・歴史民俗資料館収蔵庫建設

◇青少年対策

- ・青少年の不良化防止(市民会議、町民会議、海洋少年団など育成)

◇第33回県民体育大会開催

◇商工業対策

- ・商店街近代化事業組合共同施設事業
- ・商業診断(O型店舗形成)
- ・金融対策(金融機関に対す

る枠の拡大)

◇農業近代化事業の促進

- ・農業構造改善事業
- ・ほ場整備事業
- ・農地開発事業

◇市道舗装

- ・過疎対策事業
- ・臨時市町村道整備事業
- ・市町村道整備事業
- ・市単独事業

◇道路台帳の整備

- ・道路網の再編

◇都市開発

- ・街路事業(八谷堀~上伊万里線)
- ・公共下水道(樋門移転、護岸工事)

◇消防施設整備事業

- ・化学消防ポンプ自動車配置
- ・婦人防火クラブの結成

◇市営住宅建設

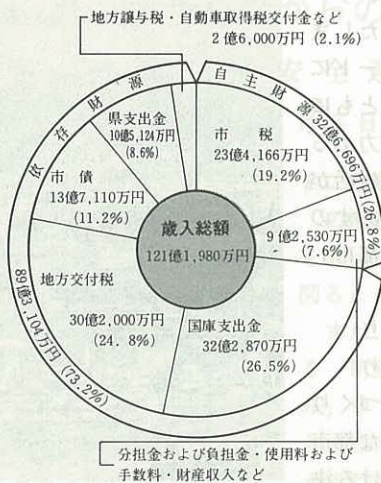
- ・大久保改良住宅建設工事(30戸)
- ・立花市営住宅増築(50戸)



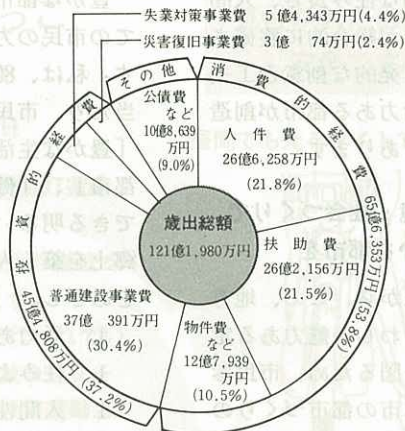
▲完成に近づく商店街近代化事業

# 昭和 55 年度 一般会計予算

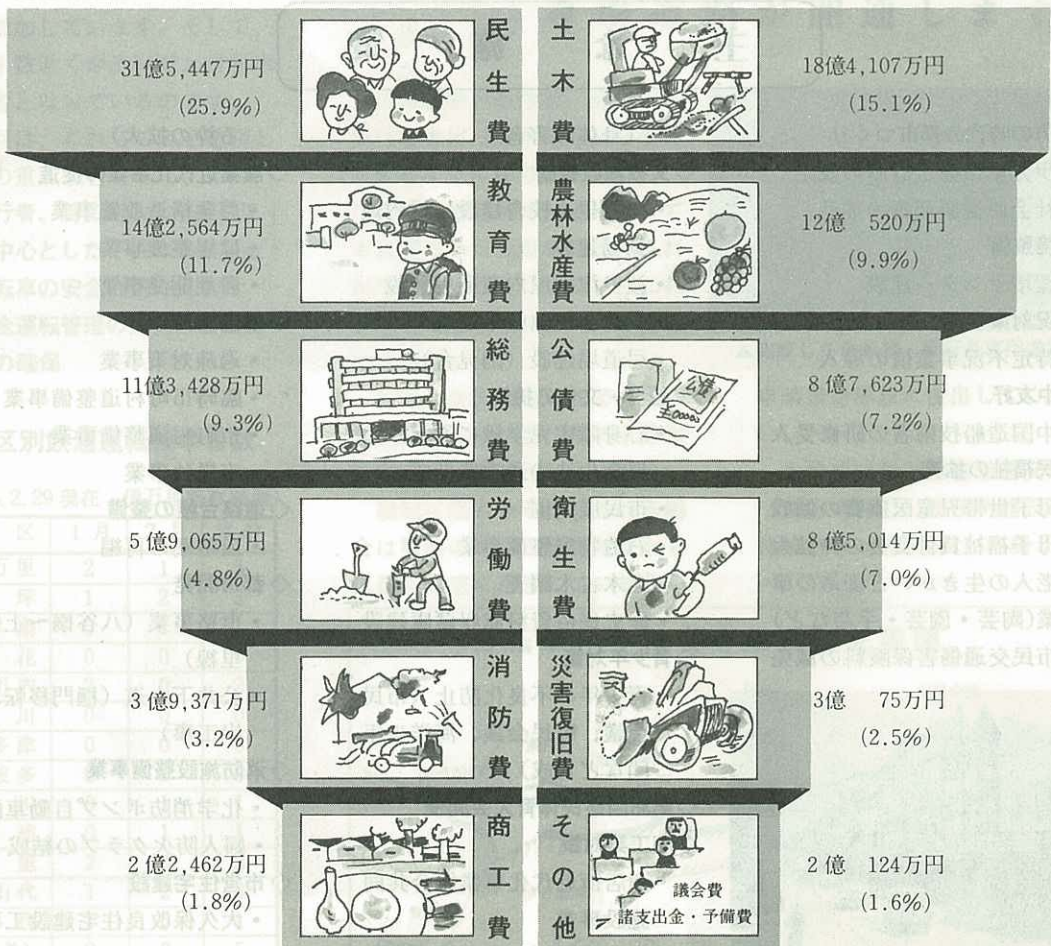
財源別の歳入割合



性質別の歳出割合



## 一般会計予算の使いみち



予算総額 121億9,800万円

# 黒川町に「環境センター」を建設

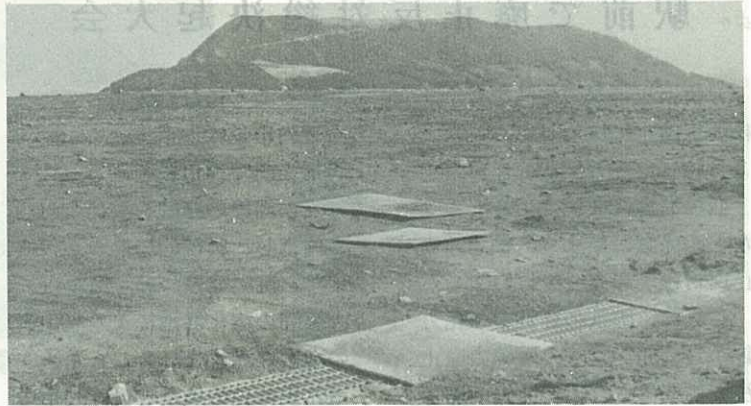
可燃物・不燃物の処理施設を統合

## 完成予定は来年度末

ゴミ処理施設「環境センター」が、本年度から2か年継続事業で総事業費10億9,913万円をかけ黒川町立目に建設されます。

これは、市民の日常生活から排出されるゴミが大幅に増加しその質も多様化、粗大化の傾向にあり、これからも増大が予想されるため、ゴミ処理の抜本的対策として計画が進められてきたものです。

この施設は、現在の可燃物、不燃物の処理施設を統合し1日当たり60トンの可燃物と20トン



▲環境センター建設地(黒川町立目)

の不燃物を処理する能力を有するもので、本年度事業費として5億1,794万円を予算計上しています。

## 中国の造船技術

### 研修者を受け入れ

中国からの造船技術研修者3名を受け入れるための経費332万円を計上しました。

これは、市が昨年10月、中国との友好親善と相互の理解を深めようと初の訪中団を派遣し、景徳鎮市との姉妹都市締結申し入れなど本市発展の将来方向に先導的な役割りを果たしましたが、その一連事業です。

## 老人の「生きがいと創造の事業」を推進

老人の生きがい対策の新しい施策として「生きがいと創造の事業」を計画し、経費500万円を予算計上しました。

これは、陶芸、手芸、園芸など、老人一人ひとりが希望や能力に応じた生産活動を通して生きがいを高め、同時に社会参加を進めるもので、現在の老人福祉センター敷地に作業場を建設

します。

そのほか、花づくり事業や就労事業など一連の生きがい対策もあわせて推進していきます。

## 母子家庭児童の

### 医療費助成制度を新設

母子家庭の精神的不安の解消と経済的基盤の確立を図るため新たに「母子家庭の児童に対する医療費の助成制度」を設け、その経費64万円を計上しました。

これは、母子家庭における児童の保健の向上と経済的負担を軽減することにより、母子家庭の福祉向上を図るものです。

## 商店街駐車場対策で

### プロジェクトを組織

商業活動の不可欠要件である駐車場は、昨年、川北地区に開設し、これの借上料150万円を予算計上していますが、まだ十分でないため、庁内に駐車場対策プロジェクトを組織し、今後商工会議所や商店街と話し合いを進めていくことになりました。



▲生きがいを求めて

# 市民の足、松浦線の存続を

## 駅前で廃止反対総決起大会

伊万里市民の生活を脅かす松浦線廃止に反対しよう、と、3月13日、伊万里駅前に伊万里・西松浦地区住民の足を守る会など関係者が集まり、松浦線廃止反対総決起大会を行いました。

これは、国鉄の経営合理化方針から、赤字ローカル線の廃止法案が準備され、松浦線の廃止問題がいよいよ現実のものとなってきたため行われたものです。

松浦線が廃止になると、これからの伊万里湾開発に大きな影響を与えることは必至であり、同時に市民生活への影響も憂慮

されることとなります。

竹内市長は、市議会において所信表明で「市民の足となって、いる松浦線の存続を関係市町村と連携し、積極的に働きかける。また、筑肥線についても福岡～唐津間の電化計画により利用者の増大が見込まれることから、電化複線化の延長と優等列車の

増発を引き続き要望していきます。」と述べています。

松浦線を廃止から守るためには、市民運動として市をあげて立ち上がらなければなりません、それと同時に松浦線を利用する運動も合わせて展開することが必要です。

市民の皆さんと力を合わせ、松浦線の存続に努力していきましょう。



▲市民の足を守ろうと、松浦線廃止反対総決起大会、

### 固定資産評価審査委員 田中・多久島氏を選任

市固定資産評価審査委員会委員の田中貢氏（波多津町田代）が、5月5日で任期満了するため、改めて同氏を再任しました。

また、多久島俊次氏（東山代町長浜）が、岸川初次氏の任期満了（5月5日）に伴い、新たに選任されました。

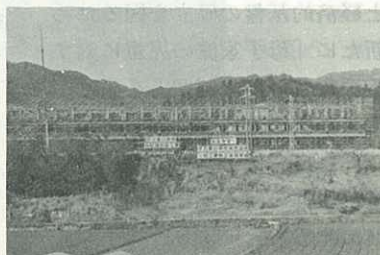
### 人権擁護委員 多久島・原口・古川氏を再任

人権擁護委員の下記3名が、4月1日で任期満了になるため改めて再任されました。

- ・多久島勝次氏(東山代町長浜)
- ・原口 トミ氏(松浦町上原)
- ・古川 美年氏(波多津町筒井)

## 伊万里小・波多津中に屋内運動場を建設

伊万里小学校の移転改築事業として、校舍1棟の改築と屋内運動場移転増改築などの工事に



▲建設が進む伊万里小学校

要する経費2億9,621万円を予算計上しました。

この移転事業は、昭和54年度から継続事業として進めているもので、昨年11月から建設を始めた校舍は、今年8月末に完成し、2学期から新校舍で授業が開始できるようになります。

また、波多津中学校の屋内運動場改築に要する経費8,267万円を予算計上しました。



# 待望の施設完成へ

豊かな都市づくりの拠点めざし



伊万里・有田焼伝統産業会館



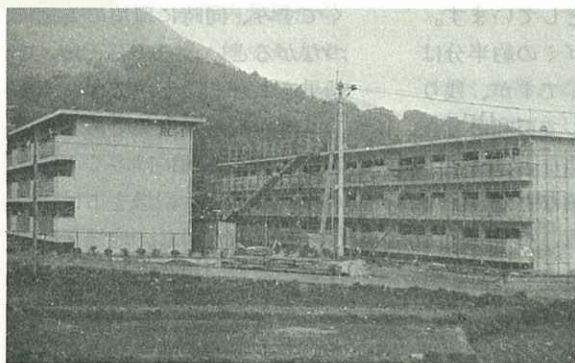
保健センター



西部老人憩の家



立花保育園



市営住宅(大久保市営住宅)



武道館

# あなたと考える

# なくそうゴミ

ゴミ処理は、市民生活に不可欠なものです。ゴミの量は年々増える一方で、その質も多様化、粗大化の傾向にあり、処理には高度な設備と多額の費用を要しています。反面、環境美化思想が定着しつつあるなかで、一部の心ない人々による不法投棄は後を断たず、ゴミ公害として社会に問題を投げかけています。みなさんと今一度ゴミについて考えてみましょう。



▲不法投棄を調べる市環境衛生課職員

## 美しい郷土を守ろう

市民の日常生活から排出されるゴミの量は、前年度1年間で7,106トン(1.5トン車で4,738台)もあり、その量は年々増え続けています。

この数字は、道路、河川、海岸、山林などに捨てられた不法投棄のゴミは含まれていません。これらも莫大な量にのぼるものと推定され、ゴミの山は郷土の環境を汚しています。

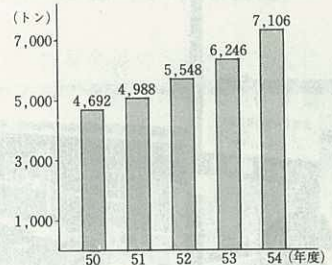
それは一人ひとりの「捨てる」という小さな行為がきちんと行われなからで、これらがつもりつもって「ゴミ公害」を生み出し、社会問題にまで発展させているのです。「自分の家から出たゴミは責任をもって処理す

る」という自覚がない限り、ゴミの山はなくなりません。

ゴミを捨てるのもあなたならゴミ公害をなくしていくのも、あなた自身なのです。

一人ひとりをもっと身のまわりを見つめ、汚さず、壊さず、みんなで美しい郷土を守り育てたいものです。

●増え続けるゴミの量



## ゴミの再利用で一石三鳥

ゴミは、貴重な資源として今再評価されようとしています。

家庭から出るゴミの約半分は台所などの生ゴミですが、残りの半分は資源として再利用できる新聞紙や古雑誌などの紙類、空かん類、びん類などです。

これらの「資源」を1回使ったきりで捨ててしまうのは、もったいない話で、まさに資源のムダ遣いです。

「ゴミの再利用、は資源の有効活用になるとともに、ゴミの量

が減って清掃・処理費用が少なくてすみ、同時に環境の美化につながるという「一石三鳥」の効果をあげることができます。

ゴミが有効な資源であると同時に、ゴミ処理には多くの費用がかかるという認識を市民一人ひとりが新たにし、地域活動のなかで資源回収や不用品交換会などの資源再利用化運動を高めあわせてゴミの減量や、分別収集活動が市内全域に広がることを期待したいものです。



# の不法投棄

## ゴミ公害を追う

ゴミの不法投棄で道路に付設された暗きょの排け口が閉ざされ、排水の用をなさないばかりか降雨で道路が決壊したり、下流の住家が危険にさらされているところがあります。

このゴミの山は、東山代町の東大久保と脇野を結ぶ農免道路沿いに捨てられているものです。市は、これまで決壊した道路を改修したり、ゴミの不法投棄防

### きまりは守ってください

環境衛生係長 川口正隆さん

最近、家庭内や家の回り、排水路などは、よく清掃されていますが、「ごみを誰かがたくさん捨てている、なんとかしてほしい」という苦情が市内各地から

たびたびあります。捨てた人や、捨てている地区がはっきりする場合は、その原因者に片付けてもらうことを原則にしていますが、捨てた人がわからず、そのまま放置すれば地主が迷惑したり、環境上好ましくないときはやむなく市が整理しています。「捨てる、片付ける」のくりかえしでは困ったものです。ごみはきちんと出してください。

止の有刺鉄線を張り、ゴミを捨てないようにと呼びかける看板まで立てていますが、相変わらず捨て続けられています。

問題を解決するには、暗きょの排け口を閉ざしているゴミを取り除くことが先決ですが、一部の心ない人々によってゴミの不法投棄が後を断たない状態では、一時的な解決をしても、根本的な解決をはかることはできません。

みなさんの身近にも、このような例はあるものと思います。心ない人々の自覚を促すためにも放置することなく、地域の関係者が自から手を汚して環境整備を進めることも必要なのではないでしょうか。今こそ「なくそう不法投棄」を合言葉に、みんなで立ち上がりましょう。

### ゴミについての認識を新たに

東山代町脇野 立石頼子さん

「ゴミ公害、これはかねて気にかかっていたのですが、自分の身にふりかかってみて、ゴミ処理の大切さを、より深く痛感しています。

それにしても、ゴミで水害の心配が出るとは夢にも思いませんでした。ゴミを捨てた人も、そこまでは考えなかったと思いますが、自

## キャンペーン シリーズNo.19

### 公德心が欠如している

東大久保区長 有尾庄吉さん  
公德心が欠如しているの一言につきます。

不法投棄場所は山合いの谷間で人目につきにくいいため気がついた時にはゴミが排水管を覆い、手がつけられないようになっていました。これまでも市の協力で3回も整備しましたが、まだ捨てられているようです。

大きな被害が出ないうちに、関係地区で近くゴミ処理をすることにしています。

自分の身のまわりさえきれいであればよいと、他人の迷惑も考えずにゴミを捨てるのは、絶対にやめてもらいたい。



分さえよければという行為は許せません。

ゴミ処理は決められたように、きちんと守ってほしいと思います。私も、ますますゴミについての認識を新たに、使い捨てというだけでなく、さらに再利用の力を入れたいと思います。

## 卒業を大ダコで祝福

### 滝野中学校の測量クラブ

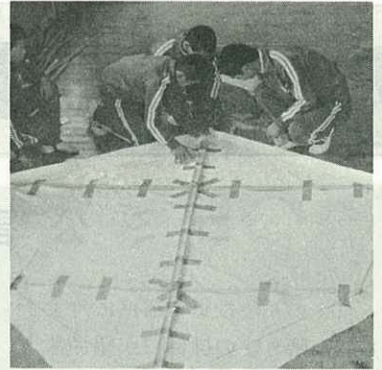
春風によって天までとどけ、滝野中学校（原陸奥夫校長＝39人）では、卒業生の門出を祝い、卒業おめでとう、と書いた大ダコを空高く上げました。

この大ダコは、同校の測量クラブが高度を測る教材用として自作したもので、昨年の卒業式

に上げてたいへん喜ばれたため今年も行ったものです。

タコは高さ2.30m、幅2mもある大きなもので、出雲悠司教諭の指導のもとにクラブ員たちが放課後、竹を割り、ビニールを張って製作に励んだものです。

卒業式の日、クラブ員の願いもかなってか、雲ひとつない晴天に恵まれ、大ダコはそよ風



▲大ダコの制作に励む生徒

によって150m以上も上がり、卒業生を祝うかのように大空で羽ばたいていました。

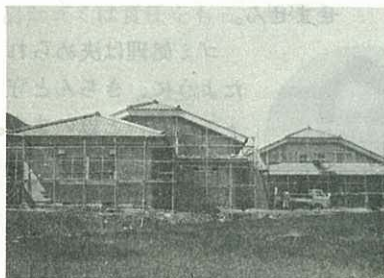
### 大川内公民館 4月14日開館

#### コミュニティの拠点に

大川内町平尾（大川内山方面入口）に建設していた大川内公民館が、このほど完成しましたので、4月14日から開館します。

大川内公民館（鉄骨平屋建＝630㎡）は、昭和54年度事業として1億474万円をかけて建設されたもので、講堂・大研修室・研修室・調理実習室や視聴覚機材などを備えた近代的な公民館です。

この公民館の完成で、大川内町住民のより身近な施設として町づくり、社会づくり、文化づくりを推進する地域コミュニティの拠点として活用されます。



▲コミュニティの拠点、大川内公民館、

## 健全な芽を育て非行防止を

### 善行生徒25名を表彰（伊中育友会）

伊万里中学校（土井宗一校長＝1,137人）の育友会は、子供たちの健全な芽を育てようと、3月3日、網谷由美さんから25名の善行生徒の表彰を行いました。

この善行表彰制度は昨年から設けられたもので、今回で68名の善行者が表彰されました。

この表彰は、育友会の補導委員会が、ただ単に非行少年を補導することよりも、それをとりまく社会環境をみつめなおし、子供たちを非行や事故から守り明るく楽しい学校や社会づくりを進めようと実施しているものです。

善行生徒は、地域の清掃、あいさつ、家事の手伝いなど他の模範となっている生徒で、小さな善行でも本人はもちろん、他の生徒の励みになるものを対象に、地域の校外補導委員さんが推せんしているものです。

育友会長の光武久子さんは、「かくれた善行は本当に素晴らしいもので、高く評価されるものです。人が見ているとか見てないとかでなく、自分の心に正しく生きてほしいと思います。」と述べていました。

また、同校の土井校長は、「自主的に地域へ貢献しようとする気持ちが出てきました。善行表彰は本人の励みにもなり、非行防止になっています。」と感謝しておられました。



▲表彰を受ける伊中の善行生徒

できていますか

## 新入学児の心がまえ

入学のシーズンとなりました。小学校1年生になるお子さんをお持ちのご家庭では、みなさんが入学の日を待ち望んでおられることと思います。そこで入学に当っては次のようなことに気を配りましょう。



### ・心がけたいこと

- 1.「もうすぐ1年生になるのだ」という自覚と誇りを持たせ、自分でできることは自分ですという態度を身につけさせましょう。
- 2.学校は先生や友だちと勉強したり遊んだりできる楽しいところだという印象を持たせ、

入学への希望をはぐくみましよう。

- 3.「そんなことでは1年生になれないよ」などを言って、緊張感を高めたり、不安をかきたてることのないよう、のびのびとした気持ちを持たせましよう。

## 〈国保コーナー〉

### 国民健康保険(国保)を

### 理解していただくために

#### ◆ 国保は助け合いの保険 ◆

病気やケガでお医者さんにかかった時、あなたが負担するのは経費の3割で済みます。それは、残りの7割をみんなで出し合ったお金(国保税)と国の補助金でまかなうからです。

だから、国民はみんなで助け合ってお互いの健康を守る「助け合い」の保険なのです。

#### ◆ 国保をよく理解し大切に ◆

国保は自分たちで出し合った国保税(国の補助金を含む)で運営されますから、保険をムダに使うとそれだけ納める保険税も高くなり、みんなに迷惑をかけることとなります。乱診をさけ大切に使いましょう。

#### ◆ 健康保険への加入は

#### あなたの義務です ◆

健康保険制度には国保をはじめ八つの種類があり、すべての人はそのいずれかに加入しなければなりません。そして、どの保険に加入するかは主に職業によって決まっています。



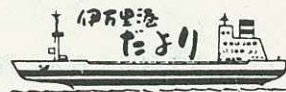
次に該当する人以外はすべて国保に加入の義務があります。

- ・健康保険(社保)の加入者
- ・日雇健康保険の加入者

## 市の人口

(3月1日現在)

総人口	61,308人	(+46)
男	29,067人	(+12)
女	32,241人	(+34)
世帯数	16,344人	(-)
市民課調べ、( )は前月比		



2月

貿易実績は33億8,675万円で前月比16億490万円の増。

[輸出] 9億2,919万円

[輸入] 24億5,75万円

[船舶の入港] 20隻

(日本船3、外国船17)

[寄港地上陸許可者] 464人

フィリピン233、韓国111、インドネシア84、中国32、イギリス4。

- ・船員保険の加入者
- ・各種共済組合の加入者
- ・生活保護を受けている人
- ・国保組合の加入者
- ・国立のらい療養所の入所患者
- ・その他特別に認定された人

#### ◆ 国保の加入はお早目に ◆

国保に加入すべき人が届出をせず、万一ケガや病気になった場合、保険がありませんから何10万円もの医療費をすべて支払わなければならない、しかも、国保税は未加入期間までさかのぼって納めなければなりません。

現在、どの健康保険にも加入しておられない方は今すぐ国保の加入手続きをしてください。

※国保についてのお問い合わせは市民課国保係(☎2111、内線222)へどうぞ。

# ありがとう あなたの善意

心あたたまる町の話

～その15～

## 四季の花が咲く瑞穂町バス停

利用者に潤いをと花づくりに励む富永さん

バス停留所を利用する人に潤いをと、四季の花を咲かせている方がおられます。

この方は、二里町瑞穂町の富永初市さん（70歳）で、自宅近くにある瑞穂町バス停留所に花壇を作り、春から夏はキンセンカ、秋にはコスモスの花を咲かせて、利用者の目をなごませているものです。回りには、カイズカイブキや車輪梅なども植えられており、緑に囲まれた美しい停留所です。

このバス停は、以前は住宅街から遠く離れたところにあり、利用するのに不便であったため地域の人たちが市やバス会社に働きかけ、今の場所に移転してもらったとのことで、富永さん

は「それにむくいるためにも思いました。今では私の生きがいのひとつとして、社会にいくらかでもお役に立てばと気軽な気持ちでしています。」と話しておられました。



## 健康づくりにと、神社境内、を清掃

住民から感謝される楠久の山口さん

神社の境内をいつもきれいに掃き清めているおばさんがおられます。

この方は、山代町楠久の山口ワイさん（62歳）で、朝早く散歩がてらに近くの楠久神社に行き、境内の落葉やゴミクズを掃き集め、燃やしたりしてきれいにされているものです。この神社は子供たちの遊び場で、境内

にはスベリ台などの遊具もあり少年剣士の練習場にもなっているなど利用者も多く、それだけに紙クズなどが散らかるため、空カンを利用してゴミ入れを作り備えつけたりしておられます。山口さんが神社清掃を始めたのは、昭和51年に学校を退職してから健康づくりにと思い立ったとのことで「夏休みには掃除のあと子供たちと一緒にラジオ体操をしますが、とってもすがすがしい気持ちになります。」と語っておられました。

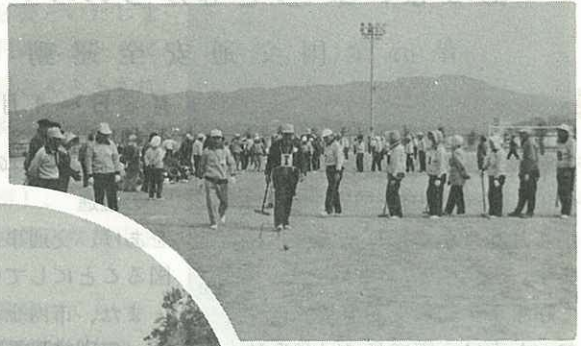
区長の福田浜吉さんは「山口さんの善意に部落のみんなが感謝しています。」と話しておられました。



# 市民体づくり大会 (3/16)



▲ハイキング  
腰岳中腹のトラピストまで全員元気に歩きました。



▲ゲートボール  
今年から加わった新しい種目。大川チームが優勝しました。



▲ジョギング



▲民踊・フォークダンス  
体育センターでは、お年寄りから子供まで楽しい踊りの輪ができました。



▲オリエンテーリング  
毎回参加希望者が一番多い人気種目で受付けの係員も大いそがしでした。

## いま伊万里で



◀一人暮らしの老人を消防署員が訪問いざという時にそなえて火元の点検や避難方法などを確認しました。



▲市内各地で卒業式  
小学校939名、中学校934名がなつかしい校舎を後にしました。

# あぶないよ 歩きながらのふざけっこ

## 春の全国交通安全運動

4月6日～4月15日

新入学、新入園の季節を迎え今年も「春の全国交通安全運動」が4月6日から15日まで行われます。

昨年1年間に交通事故で亡くなった方は全国で8,461名を数え、市内でも10名の方が事故の犠牲になっておられます。

全国的にみると死亡者は9年連続で減少しているのに対し、市内の死亡者は前年より逆に4名も増加しています。そして、その半数近くが歩行者か自転車利用者となっているのです。

今回は、これらの点を重視し運動の重点項目として、

- ▲ 歩行者、特に新入生（園）児を中心とした子供の事故防止
- ▲ 自転車の安全利用の促進
- ▲ 安全運転管理の充実と安全運転の確保

### 地区別飲酒運転検挙者数

(昭55.2.29現在 伊万里警察署調)

地区	1月	2月	累計
伊万里	2	1	3
大坪	1	2	3
牧島	0	1	1
立花	0	0	0
大川内	2	0	2
黒川	0	0	0
波多津	0	0	0
南波多	0	0	0
大川	0	1	1
松浦	0	1	1
二里	2	0	2
東山代	1	2	3
山代	1	0	1
(市外)	2	3	5
計	11人	11人	22人

気付かれたあなたは安全です!

昼間でも光るライトで身を守ろう



(大型バイクはライトを下向きに)

### ▲ 二輪車前照灯の昼間点灯運動の推進

をあげ、交通事故防止の徹底を図ることにしています。

また、市内全域で行われている「町別飲酒運転追放コンクール」や「交通安全かけ声運動」にも力を入れますので市民の皆さんのご協力をお願いします。

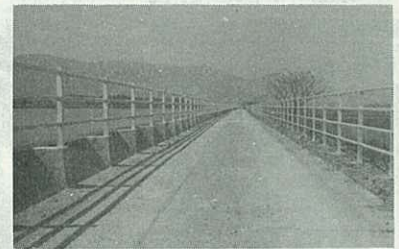
## 自転車 歩行者 専用道路が開通します

市道協田～築港線、自転車・歩行者専用道路が4月から通行できるようになります。

この専用道路の開通によって4月20日から自動車の乗り入れができなくなりますので、これまで利用されていた方はご注意ください。

なお、混合交通区間での車の運転は自転車や歩行者に十分な注意を払って通行してください。

規制区間に車を乗り入れる場合は警察の許可が必要ですから区長さん宅に用意している許可

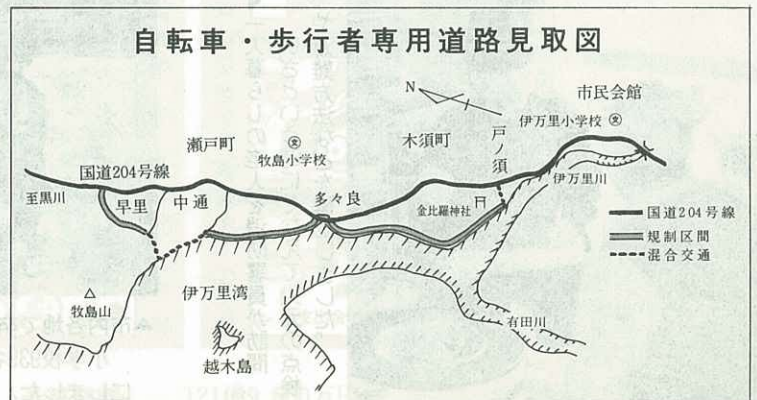


▲完成した自転車・歩行者専用道路

申請書を早目に提出してください。

お尋ねは伊万里警察署交通課(☎3144)、市役所建設課維持補修係(☎2111、内線337)へ。

### 自転車・歩行者専用道路見取図





## 消費生活通信講座

## 受講生を募集

県は消費者問題に関心を持ち学習意欲のある方を対象に、通信講座を開講します。

- ▲ 募集人員 51人(当市分)
- ▲ 期間 昭和55年6月～11月
- ▲ 学習方法
  - テキストによる自宅学習
  - 期間中2回のスクーリング
- ▲ 受講料 無料

※受講希望の方は電話またははがきで住所、氏名、年齢、職業性別、電話番号を市役所企画課

企画統計係(伊万里市立花台1丁目1番1号、☎③2111、内線415)へ4月末日までに連絡してください。



## あなたも陶芸を始めませんか

## 初心者大歓迎

伊万里陶芸クラブは会員の募集をしています。陶芸に興味のある方はどなたでも結構です。ふるってご参加ください。

- ▲ 開級日 4月16日 13時から
  - ▲ 場所 中央公民館
  - ▲ 指導 市川内氏(大川内)
  - ▲ 会費 月額1,000円程度
- ※参加ご希望の方は4月10日までに中央公民館(☎②7105)へお申し込みください。

(先着20名で締め切ります)

みなさん、「こけし人形」をご存知でしょう。旅先の店で売っているかわいい人形です。その「こけし人形」を通して部落差別のことを考えてみたいと思います。

こけし人形の「こけし」は、漢字で「子消し」と書き、子は子どものことで、消しとは殺すという意味です。こけしというのは、子どもを殺すことなのです。

あの民芸品として郷土色豊かなかわいさを満面にうかべている「こけし人形」には、江戸時代、生活苦のために子どもを殺していた庶民のきびしく暗い歴史の過去があります。

では、なぜ子どもを殺したのでしょうか。江戸時代は約300年続きましたが初期も末期も人口は約3000万人といわれています。江戸時代の人口がほとんど変動しなかったのは、子どもを2人だけしか生まなかったというのではなく、5人も7人も生みながら2人しか育てなかったのです。では、他の子どもは

どうしたのか。それは筒引きといって生まれた子どもを殺していたのです。親として子どもを殺すことほど辛い悲しいことはありませんが、それは子どもを生んでも生んだだけ育てていけない当時の民衆の貧しい苦しい生活があったからです。

## 同和教育シリーズNo 7

「こけし人形」と「姥<sup>うば</sup>すて山」

こけしの源流は東北といわれています。吹雪につつまれた冬の日、くる日もくる日もいろりを囲みながら縄をなったりむしろを編んだりという生活の中でつい思い出されるのが筒引いた子どものことです。「あの子が生まれていたらかわいい子になっているだろうに」と思いにふけり手仕事のあいまに近くにある薪を取って子どもの顔をなつかしく思い浮べながら作ったのが、「こけし人形」といわれています。

このようにこけしの中には社会の底辺に生きぬいた名もなく貧しい庶民の悲しい歴史がこめられています。

親が子を殺すならば、子が親を殺すこともあったのです。「姥すて山」という話を聞かれたこともあると思います。

年老いて田んぼの仕事に役立たなくなると口べらしのために生きながらにして、子どもが年老いた親を山に捨てに行くのです。当時の農民はそうまでしなければ生きていけませんでした。

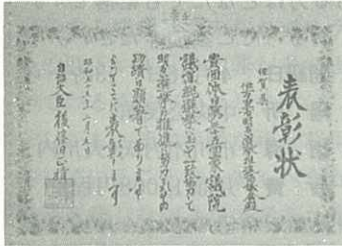
このように「こけし人形」や「姥すて山」には、当時の農民のきびしい生活のようすと「百姓は生かさぬように殺さぬように」という過酷な政治の姿が語られています。これは徳川幕府の民衆に対する差別と迫害の歴史であり私たち祖先の貧しいみじめな生活の歴史でもあるのです。

このような歴史の中から、農民の不満や反抗をおさえる安全弁として政策的に被差別部落がつくられ部落差別がつくられたのです。

## 明るい選挙推進協議会が

### 自治大臣表彰

伊万里市明るい選挙推進協議会（会長、藤田平太氏）が自治大



臣の表彰を受けました。

これは、昨年行われた衆議院議員総選挙の際、広く市民に明るい選挙の推進を呼びかけ、その成果が認められたものです。

今年は7月に参議院議員の改選が予定されています。今回の表彰を一つの契機として、明るく正しい選挙をさらに推進していきましょう。



### 電話加入権の公売

- ▲日時 4月23日（水）13時
- ▲場所 市役所税務課
- ▲公売財産 電話加入権
- ※物件の都合により期日前に中止する場合があります。
- お問い合わせは市役所税務課収納係へ。（☎③2111、内線235）

### 4月の市民会館行事予定

- 毎週金曜日 9時30分～15時 運転免許証更新時講習会
- 6日（日） 14時開演 フォークコンサート（桃太郎）
- 6日（日） 9時～12時 アマチュア無線講習会
- 19日（土） 13時～17時 教育懇談会（伊万里地区労）
- 20日（日） 9時～17時 ピアノ発表会（文化堂）
- 27日（日） 10時～17時 ピアノおさらい会（つくし会）

伝言板はあなたのページです。グループやサークルの会員募集、催し物のお知らせなど、1か月程度の余裕をもって広報係までご連絡ください。

### 交通事故無料相談

佐賀自動車保険請求相談センターは交通事故のさまざまな問題に専門の相談員や弁護士が応じます。

〔平日〕 9時30分～16時  
土曜日は12時まで  
〔弁護士相談〕

毎週水曜日13時～16時

〔場所〕 佐賀市中央本町1-6  
ニューサガビル6階、佐賀調査事務所内☎0952-29-8768

### 伊万里えびね展示会

えびねの展示会を次のとおり行います。多数おいでください。

▲日時 4月26日・27日  
9時～17時

▲場所 大坪公民館

※入会希望者を歓迎します。

### 特設人権相談

人権、相続、不動産などの問題について人権擁護委員が相談をお受けします。

▲日時 4月25日 10時～15時

▲場所 松浦公民館

▲担当 人権擁護委員

原口トミ氏

法務局伊万里支局職員

### カンボジア難民に 愛の救援金を

日本赤十字社は荒廃した国土で飢えと病気に苦しむカンボジアの人々を救済するための救護募金を呼びかけています。

皆さんの愛の浄財を日赤佐賀県支部までお寄せください。

連絡先、日赤佐賀県支部（佐賀市川原町2-45、☎0952-25-3108）

### ☎でんでんだより☎

#### 転居の時、電話機はそのままに

伊万里2局、3局の電話加入者が転出や転居などをされる場合、局では電話設備をそのまま残していただくようお願いしています。

こうしますと、再工事で家屋に傷を付けることもなく、工事に立ち会う必要もありません。また、それだけ電話の開通が早くなりますのでよろしくご協力ください。

（伊万里電報電話局 ☎③4240）

# 危険物取扱者試験

受付期間 4月7日～11日

危険物取扱者試験が次のとおり行われます。受験希望の方は早目にお申し込みください。

### ▲試験の種類

○乙種第4種危険物取扱者試験

○丙種危険物取扱者試験

▲期日と場所 5月18日(日) 佐賀西高校

▲申込先 佐賀県消防防災課(〒840 佐賀)

賀市城内1丁目1番59号)

▲願書の請求と問い合わせ先  
市消防本部予防課危険物係  
(☎③ 4311)

※試験に先だち、市危険物安全協会主催で準備講習会を次のとおり行います。

▲期日 5月12日・13日

▲時間 9時30分～16時

▲場所 市役所4階大会議室

次のかたからご寄付をいただきました。厚くお礼申あげます。(敬称略)

### 社会福祉事業費へ

- ◆香典返しを寄付
  - ・田中武一(二里町金武)
  - ・父田中百助
  - ・春口 登(松島町 亡母)
  - ・大原 敏(黒川町大黒川)
  - ・松尾 太(黒川町畑川内)
  - ・東 金生(脇田町岩立)
  - ・福井文一郎(松島町 亡母ユミ)
  - ・力武春夫(木須西 亡母ツカ)
  - ・米田道夫(松浦町下分)
  - ・松本 渥(山代町久原一)
  - ・中尾忠彦(山代町楠久)
  - ・西村正俊(脇田町陣内)
  - ・津上逸夫(瀬戸町早里)
  - ・泉ハナ子(山代町立岩)
  - ・石田満次(松島町 亡妻)
  - ・阿部トシエ(大川内町市山)
  - ・田口タツエ(大川町駒鳴)
  - ・瀬戸口親義(脇田町 亡母マス)
  - ・小山定男(西彼杵郡時津)

町 亡母シゲ)

### 久重路重五郎(山代町野)

- ・山本ヨシ(山代町楠久)
- ・重松弘二(東山代町長浜)
- ・祖父島公生(山代町川南)
- ・久我 清(二里町八谷)
- ・栗田一敏(大川町川西)
- ・徳川賢助(大川町山口)
- ・水田知子(新天町 亡母キヌ)



ありがとうございます  
ごちやうました

(東京都)

### 七千五百四拾零円(二里町青年団)

- ・五百二拾円 篤名
- ◆教育振興奨励基金へ
- ・松本龍子(山代町楠久津)
- ・古川軍二(二里町八谷)
- ・片岡和子(大坪町永山)
- ◆志寄付
- ・伊万里小(今井敬輔)
- ◆篤志寄付
- ・拾万円 中尾國雄(山代町久原)
- ・図書券老万円 竹内幸子(松島町二一九)
- ◆体育振興奨励基金へ
- ・老万円 中島紘一(新天町六五四)
- ◆香典返しを寄付
- ・西村正俊(立花町陣内)
- ◆消防施設整備に
- ・器材五万五千円相当(南伊万里発動機)
- ◆落成記念に
- ・大坪地区社会教育
- ◆香典返しを寄付
- ・山口ミチ子(大坪町柳井)

町 亡夫呈太郎)

### 波多津町コミュニティ

- ◆香典返しを寄付
- ・栗原寛治(波多津町浦)
- ◆南波多公民館
- ◆施設整備資金へ
- ◆香典返しを寄付
- ・池田初治(南波多町原屋)
- ◆古野年夫(南波多町高瀬)
- ◆前田不可土(南波多町小麦原)
- ◆杉山義男(南波多町井手野)
- ◆松浦町公民館運営資金へ
- ◆香典返しを寄付
- ・片岡和子(大坪町永山)
- ・山口良樹(松浦町中通)
- ◆篤志寄付
- ・参万円 飯盛正樹(松浦町中通)
- ・参万円 原口 弘(松浦町宿分)
- ◆参万円 飯盛正義(松浦町下分)
- ◆二里町明るい町づくり
- ◆香典返しを寄付
- ・古川軍二(二里町東八谷)
- ◆山代町コミュニティ
- ◆センターへ
- ◆香典返しを寄付
- ・九重路重五郎(山代町野々頭)

## こどものページ

交響詩  
伊万里

## 児童が作詩者に感想文

心のこもった返事届く

松浦小学校の6年生25名が「交響詩伊万里」を聴いた感想文を、作詩者の片岡繁男さん（東京在住）に送りました。

感激した片岡さんから一人ひとりに心のこもった返事を書いた長い手紙（原稿用紙28枚）が届きました。下記の文章は「伊万里はそんなにきれいなのかなあ」と疑問に思った子供への返事の一部です。

## 伊万里はきれいだろうか

「伊万里は、そんなにきれいなのかなあ」というあなたの思いは、けっしてまちがっているものではありません。

おとなの人でも「あなたがうたっているほど伊万里はきれいなところ、すばらしいところですかね。」と、私にまじめに質問した人がなん人もいます。

それは、決して皮肉ではなく「ほくにはそうは思えない。しかしほんとに、ふるさと伊万里がそんなに美しいのなら、ほくもそう思いたい。」と、祈るような気持ちで、私に質問するので。どうすれば、伊万里がそん

なに美しく、すばらしく見えるようになるのだろうか……と。

## 美しさは自分がきめるもの

それは——伊万里の山でも川でも、海でも「おまえたちよ。おれはきれいなんだぞ。さあ美しく思え！」と命じているのではない、ということです。

山も川も海も、つつじの花もまきの木々も、ただそこにあるだけ、そこで咲いているだけ、そこにつっ立っているだけのことです。「美しい」とか「すばらしい」とか、「いや、私はきれいだとは思わない」とかは、ただ人間が勝手に思っているだけのことなのです。

## 草むらの姫ききょう、

たとえば、あなたがいま歩いている道で、ちょっと立ち止まってみてください。そして、そばの草むらに近よって、じっと注意して見てごらん下さい。小さな花が、それこそマッチの軸のあたまほどの花が咲いている

この詩では、とても、伊万里がきれいみたいです。わたしは、伊万里は、そんなにきれいなのかなあ、と思っています。

自分が住んでいる所をそんなふうにいうと、とても悪いようだけど……。

かもしれません。その花の名をあなたはごぞんじないとおもいます。私はこんなとき、もし、その花のかがりかたがききょう、の花に似ていたら、自分だけで「姫ききょう」と名をつけます。もちろん、正しい名前がわかったらすぐに取り消しますが……。私はこんな小さな花の場合は、上に「ひめ」をくっつけて自分勝手に名をつけます。

「おい、姫ききょうくん！」と、その花によびかけます。すると、なんだか童話の絵本などに出てくるお姫さまのように見えてきます。

## 美しいと思う心を養おう

もし、こういうとき、私の心の中に「こんな花なんて、かわいくも、美しくもない。おまえ足でふんづけろ！」と命令するものがあり、そのとおりに私がじっさいにおこなるとすればその時の私の思いは平静ではなかったといえます。

私たちはいつも平静でありたいものです。そして、ほんとに美しいものを美しいと見る目と、美しいと思う心をやしなっていかなければならないと思います。



▲片岡さんからの返事に喜ぶ子供たち